

制定日 2016年4月 1日

Safety Data Sheet
安全性データシート

株式会社コベルコ科研
兵庫県高砂市荒井町新浜 2 丁目 3-1
担当部門 ターゲット事業本部技術部
電話番号 079-445-9024
FAX 番号 079-445-9025
緊急連絡先 同上

1. 品名

シリコン

2. 危険有害性の要約

| GHS分類 | 項 目 | Si(粉末) |
|-----------|--------------------|---|
| 物理化学的危険性 | 火薬類 | 分類対象外 |
| | 可燃性・引火性ガス | 分類対象外 |
| | 可燃性・引火性エアゾール | 分類対象外 |
| | 支燃性・酸化性ガス | 分類対象外 |
| | 高压ガス | 分類対象外 |
| | 引火性液体 | 分類対象外 |
| | 可燃性固体 | 区分2 |
| | 自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| | 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| | 自然発火性固体 | 区分外 |
| | 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| | 水反応可燃性化学品 | 区分外 |
| | 酸化性液体 | 分類対象外 |
| | 酸化性固体 | 分類対象外 |
| | 有機過酸化物 | 分類対象外 |
| | 金属腐食性物質 | 分類できない |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性(経口) | 区分外 |
| | 急性毒性(経皮) | 分類できない |
| | 急性毒性(吸入・ガス) | 分類対象外 |
| | 急性毒性(吸入・蒸気) | 分類できない |
| | 急性毒性(吸入・粉塵、ミスト) | 分類できない |
| | 急性毒性(吸入・粉塵、ミスト) | 分類対象外 |
| | 皮膚腐食性・刺激性 | 分類できない |
| | 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | 区分2B |
| | 呼吸器感作性 | 分類できない |
| | 皮膚感作性 | 分類できない |
| | 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| | 発がん性 | 分類できない |
| | 生殖毒性 | 分類できない |
| | 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) | 分類できない |
| | 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) | 分類できない |
| | 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| | 環境に対する有害性 | 水生環境急性有害性 |
| 水生環境慢性有害性 | | 分類できない |
| ラベル要素 | 絵表示又はシンボル |  |
| | 注意喚起語 | 警告 |
| | 危険有害性情報 | 可燃性固体 眼刺激 |

| GHS分類 | 項目 | Si(粉末) |
|---------------|---------|---|
| ラベル要素 (続き) | 注意書き | <p>【安全対策】 熱、火花、裸火、高温の物のような着火源から遠ざけること。－禁煙 静電的に敏感な物質を積みなおす場合、容器を設置すること、アースをとること。 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>【救急処置】 火災の場合には適切な消火方法をとること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>【保管】 データなし。</p> <p>【廃棄】 データなし</p> |
| | 国・地域情報: | ----- |

3. 組成・成分情報

| | |
|-----------------------|-----------|
| 単一物質・混合物の区別 | 単一物質 |
| 化学名 | ・シリコン |
| 化学式または構造式 | Si |
| 官報公示整理番号 (安衛法、化審法) | ----- |
| CAS番号 | 7440-21-3 |
| 国連分類および国連番号 | ----- |

4. 応急措置

| | |
|-----------|---|
| 目に入った場合 | 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 付着または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流し、速やかに医師の診察を受ける。 |
| 吸入した場合 | 直ちに被災者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の診察を受ける。呼吸困難または呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。 |
| 飲み込んだ場合 | 意識があるときは吐かせて口の中を水でよく洗浄する。直ちに医師の手当てを受ける。 |

5. 火災時の配置消火剤

| | |
|-----------------|--|
| 消火剤 | リン酸塩以外（炭酸水素塩類、塩化ナトリウム等）の粉末消火剤、乾燥砂類 ・禁水、リン酸塩粉末消火剤の使用は厳禁 |
| 火災時の特定危険 有害性 | 熱、火花及び火災で発火する恐れがある。 激しく加熱すると燃焼する。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスをはっせいするおそれがある。 ハロゲン、金属炭酸塩、金属アセチドと激しく反応し、火災の危険をもたらす。金属六フッ化物と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。加熱すると水と反応して、引火性/爆発性の気体(水素)を生成する。空気中で粒子が細かく拡散して爆発性の混合気体を生じる。 |
| 特有の消火方法 | 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火元を除去すること。 |
| 消火を行う者の保護 | 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。 |

6. 漏洩時の措置

| | |
|-----------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 全ての着火源を取除く 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 密閉場所に立ち入る前に換気する。 |
| 環境に対する注意事項: | 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。 |
| 回収、中和: | 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 |
| 封じ込め及び浄化の方法・機材: | 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ |
| 二次災害の防止策: | 全ての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火災の禁止) プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。 |

7. 取り扱い及び保管上の注意

| | |
|------|---|
| 取り扱い | 技術的対策: 第8項記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 局所排気・全体換気: 第8項記載の局所排気、全体換気を行う。 安全取扱い注意事項: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 熱、火花、裸火、高温の物のような着火源から遠ざけること。－禁煙 目に入れないこと。 接触回避: 第10項を参照 |
| 貯蔵 | 技術的対策: 消防法の規定に従う。 混触危険物質: 第10項を参照 保管条件: (粉末又は細粒の場合) 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 熱、火花、裸火のような着火源から話して保管すること。－禁煙。 容器包装材料: データなし |

8. 暴露防止及び保護措置

| | |
|------|---|
| 管理濃度 | ----- |
| 許容濃度 | 未設定(2009 年度) |
| 設備対策 | この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 消防法の規制に従う 作業場には防爆タイプの全体換気装置、局所排気装置を設置すること。 |
| 保護具 | 呼吸用保護具: 吸保護具の使用の要求される環境下では、呼吸保護具を着用する。 |
| | 保護眼鏡: 適当な保護眼鏡もしくは安全眼鏡を着用する。 |
| | 保護手袋: 皮膚の露出を防ぐために適当な手袋を着用する。 |
| | 保護衣: 皮膚の露出を防ぐために適当な保護衣を着用する。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-------------|-------------------------|
| 外観等 | 黒～茶色 |
| 沸点:℃ | 3265℃ |
| 蒸気圧:Pa(20℃) | 情報が入手できません。 |
| 揮発性 | 情報が入手できません。 |
| 融点:℃ | 1410℃ |
| 比重または嵩比重 | 2.33 |
| 溶解度 | 水%(℃):不溶 その他の溶媒%(℃): |
| その他 | ----- |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-------------------|---|
| 引火点:℃ | 情報が入手できません。 |
| 発火点:℃ | 情報が入手できません。 |
| 爆発限界:上眼% 下眼% | 情報が入手できません。 |
| 可燃性 | 情報が入手できません。 |
| 発火性(自然発火性・水との反応性) | >250℃ |
| 酸化性 | 情報が入手できません。 |
| 自己反応性・爆発性 | 情報が入手できません。 |
| 粉じん爆発性 | 情報が入手できません。 |
| 安定性・反応性 | <p>安定性:法規制に従った保管および取り扱いにおいては安定と考えられる。</p> <p>危険有害反応可能性:ハロゲン、金属炭酸塩、金属アセリドと激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。加熱すると水と反応して、引火性/爆発性の気体(水素)を生成する。空气中で粒子が細かく拡散して爆発性の混合気体を生じる。</p> |
| その他 | <p>避けるべき条件:加熱。粉末や顆粒状で空気との混合。</p> <p>混触危険物質ハロゲン、金属炭酸塩、金属アセリド、金属六フッ化物。</p> <p>危険有害な分解生成物:水素</p> |

11. 有害性情報

| | |
|---------------------------|---|
| 腐食性 | 情報が入手できません。 |
| 刺激性(皮膚、眼) | <p>皮膚腐食性・刺激性:データなし</p> <p>目に対する重篤な損傷・刺激性: ウサギを用いた試験で軽度の刺激性との報告に基づき(区分2Bとした)。</p> |
| 感作性 | 情報が入手できません。 |
| 急性毒性 (50%致死量を含む) | <p>経口:ラット経口LD₅₀値(3160mg/kg)に基づき、JIS分類基準の区分外(国連分類基準の区分5に該当)とした。</p> <p>経皮:データなし。</p> <p>吸入(蒸気):データなし</p> <p>吸入(粉じん):データなし</p> |
| 亜急性毒性 | 情報が入手できません。 |
| 慢性毒性 | 情報が入手できません。 |
| がん原性 | 情報が入手できません。 |
| 変異原性 (微生物、染色体異) | 情報が入手できません。 |
| 生殖毒性 | 情報が入手できません。 |
| 催奇毒性 | 情報が入手できません。 |
| その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む) | 情報が入手できません。 |

12. 環境影響情報

| |
|-------------|
| 情報が入手できません。 |
|-------------|

13. 廃棄上の注意

| |
|--------------|
| 再利用のため回収します。 |
|--------------|

14. 輸送上の注意

| |
|-----------------------------------|
| キズが付きやすいので落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。 |
|-----------------------------------|

15. 適用法令

| | |
|-------------------|----------------------------------|
| 労働安全衛生法 | 施行令別表第1第2号 危険物(発火性の物) |
| 労働基準法 | 特定できず |
| 毒物及び劇物取締法 | 特定できず |
| 消防法 | 第2類可燃性固体、金属粉(法第2条第7項危険物別表第1・第2類) |
| 危険物船舶運送及び 貯蔵規則 | 可燃性物質類・可燃性物質 |
| PRTR法 | 非該当 |

16. その他

| | | |
|------------------------------------|-----------------|---|
| その他 (記載内容の 問い合わせ先、 引用文献等) | 記載内容の問い 合わせ先 | 株式会社コベルコ科研 |
| | 引用文献 | <ul style="list-style-type: none"> ・ACGIH発行TLV_s[®] and BEI_s[®]2005 ・厚生労働省:職場の安全サイト http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx ・安全衛生情報センター http://www.jaish.gr.jp/ http://www.nihs.go.jp/ICSC/ 他 |
| | 改訂履歴 | Rev.0:新規制定 |

*危険・有害性の情報は十分ではありません。また、本文書は安全の保証書ではありません